

令和1年度 事業報告

1、 総括

○NHKニュースウオッチ9の放映により、大手印刷会社凸版印刷(株)との協力体制が整い試作品がうまれた。カレンダー、カート缶、クオカードなどが新年度に事業化できるように活動中

○地元出身の洋画家園山幹生氏との出会いから絵画の先生 原 昌之氏との連携がうまれ、利用者の技術向上につながった。

○令和2年度ゆめいくワークサポート事業の助成金交付決定。次年度の事業拡大、利用者の給与向上につながるよう、役立てていきたい。

○アートタウンプロジェクトからの受注拡大へ

アートタウンプロジェクトの継続として雲南の田中工業(株)から継続の受注があった。

○ハーブ事業による安定収入 西部浄化センター横の太陽光発電所管理による、大きな定期的収入のおかげで、障がい者への安定した給与につながっている。今後も受注先への配慮に留意しながら、安定した協力体制を継続して構築していきたい。

2、 組織の状況

① 令和1年度末会員数

正会員 50 賛助会員 0 計 50

② 理事数・理事会開催数

理事 7人 監事 2人 開催数 1回

3、 事業実施の成果

A) 就労継続支援B型“わんぱく大使館”事業

【平成30年4月1日(指定)】(2018年4月1日) 現在 25名(定員20名)

障がいのある人の個性や創造性に着目した新たな自立支援の道として平成24年4月1日からわんぱく大使館(B型事業所)をスタートしてきた。

現在定員20名のところ25名の利用者が施設利用している。

今後、職員の人材育成、施設利用者へのきめ細やかなサービス提供につながるよう努めていきたい。

また、この度の新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大防止対策にともない、当法人でも施設利用者が安心して施設利用できるよう、利用者、職員の健康管理はもちろん、三密に気を付けた支援をおこなっている。今後も施設利用者が安全安心して施設利用できるよう努めていきたい。

利用者数の状況

定員20名

月度	(平成31年4月～令和2年3月)											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	25	24	25	24	25	24	25	25	25	25	25	25
月平均利用	21	21	22	21	20	22	22	22	22	21	21	22
充足率 (%)	105	105	110	105	100	110	110	110	110	105	105	110

就労支援事業収入と平均工賃額

月度	(平成31年4月～令和2年3月)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
就労支援事業 収入 (千円)	315	309	1219	374	335	743	433	340	686	333	314	319
平均工賃 (千円)	14	14	35	18	16	17	19	18	23	22	18	34

B) アート展の開催

1、一畑百貨店アートフェア：令和1年8月25日（木）～9月2日（金）

5F四季の彩り館での開催。

松江城国宝指定から1年、それを記念した特別アート展を開催 例年、一畑百貨店では”チャレンジドアート展”を開催してきましたが、今年には松江市の後援を受け、松江市、島根県の宝である”松江城”をテーマにしたアート展です。

2、極美山陰展 11月3日（日）～11月30日（土）10：00～17：00

今岡美術館

3、第9回国際チャレンジドアートエキスポインジャパン2019

10月12日（土）、13日（日）11：00～16：00ビッグハート出雲

4、京都長楽寺お寺アート展 11月15日～12月8日

5、伊藤医院壁画 平田高校選抜高校野球へのエール、2月17日

C) 計画相談支援および障がい児相談支援事業

【平成27年9月 1日（指定）】（2016年9月1日） 出雲 / 現在 8名

【平成28年10月24日（指定）】（2017年10月24日） 米子 / 現在 130名

利用者の生活全般をプランニングする重要な事業である。

利用者確保もさることながら、相談支援専門員一人一人の力量が求められる。今後、資格取得者の育成にも力を入れていきたい。

利用者数の状況

・ 出 雲

月度	(平成31年4月～令和2年3月)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	10	10	10	9	9	9	9	9	9	8	8	8
サービス提供実施回数	8	7	9	6	6	7	6	6	8	7	6	6

・ 米 子

月度	(平成31年4月～令和2年3月)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	123	125	125	125	126	126	127	128	128	130	130	130
サービス提供実施回数	9	10	16	20	16	20	14	8	7	12	11	16

D) 共同生活支援“わんぱくハウス”事業

【平成29年4月1日（指定）】（2018年4月1日） 現在 3名（定員6名）

障がいがある人たちが安心して生活できる場として、平成29年4月1日からスタートしてきた。

定員6名ではあるが、現在3名、（うち1名が県外）。経営の早期安定はもちろん、利用者が安全安心に生活できるよう（COVID-19感染拡大防止も含め）、環境整備、職員の資質向上に繋がるよう、人材育成にも努めていきたい。

利用者数の状況

定員6名

月度	(平成31年4月～令和2年3月)											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
月平均利用	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
充足率 (%)	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

E) わんぱく学園事業

【出雲市からの委託事業】

共生の町づくりの普及、そして、障がい児者の情報 県内の障がい者グループとの情報交換や相談の充実の場として年間29回（延べ200名が参加：主に障がい児が参加、遠方より年配者も参加）行うことができた。

No.4